



今年2月、東新殿に古民家の民宿「清峰園」をオープンした山崎清典さん・友子さんご夫妻宅を訪問しました。

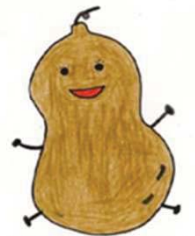
Q 始めたきっかけは？

約25年前にヨーロッパへ農家民宿の視察旅行に行ったことがきっかけです。その後、東京でグリーンツーリズムの講座を受講、地元で必要なのは「仲間づくり」だと気づきました。周りの農家の人たちに声をかけて、現在の「さく

農家民宿「清峰園」
オープン

かわら版
いわしる

マスコットの



ひょうたん
です

らの郷」の原点となる直売所を東新殿でスタート。以来、道の駅の立ち上げや運営に関わり、忙しい日々を送ってききましたが、一昨年、「ずっと温めてきた夢を実現させた」と決意しました。

Q 空間づくりについて

築一三〇年の日本家屋の持ち味を生かし、生活動線と客間スペースを分けて、よりくつろげる空間へとリフォーム。リビングは吹き抜けの空間で、室内から星空や月を眺められます。自家栽培の野菜や旬の山菜を味わえ、冬には暖炉も、二間続きの和室や茶室があり、5名まで宿泊できます。

Q 農家民宿の過ごし方は？

一言でいうと農家に暮らすように過ごすことでしょうか。たとえば、布団を敷いたりするのも各自行いますし、希望すれば農作業も体験できます。料理まで手伝いたいという人もいて「料理教室みたい」と喜んでくれました。とにかく自然の中でゆったり時間を過ごしてほしいと思います。

(友子さんが点てたお抹茶を手焼きの器でいただきながらのゆったりした時間。ご夫妻の人柄あつての「清峰園」と魅力を実感しました。)



コロナの禍で本格的な営業はまだですが、以前、ワーキングホリデーで九州の大学生を受け入れたとき、「ここにはなくしていけないものがあるような気がする」とつぶやくのが聞こえました。古民家の空気に何かを感じてくれたのだと思いました。



◆ 宿泊料金、1泊2食付き
お一人様7000円
◆ 素泊りお一人様4000円
ミニコンを完備、レストランも予約営業中です。
体験等のオプションは別料金になります。



お問い合わせ
090-1932-5266
二本松市東新殿字塩ノ作38
Web : <http://seihouen.site>

集落カルテから 見えてきたもの⑩

▼他自治会との交流や連携

84自治会のうち必要が71件、不要が9件、記入無が4件でした。

○必要

行政区単位で、パークゴルフ大会、消防団、老人クラブ等の連携。

祭礼での連携。

球技大会での連携。

道路愛護等草刈での連携。

将来的には、統合に向けた話し合い。

農事組合、交通安全、防犯等の役割を含めた精査が必要ではないか。

大字全体での連携が必要。

○不要

特になし。

▼集落の将来展望

○家族の状況

それぞれの割合は左記のとおりです。

①家族（夫婦以外）と同居している。 36・6%

②家族と同居しているが、日中は一人になる。18・4%

③同居はしていないが、日常家族が訪れる機会が多い。 22・6%

④家族とは遠く離れていて、家に来る機会が少ない。 12・7%

⑤家族がいない。 9・7%
○将来の集落維持の見通し・役回り

80歳以上は役を免除している。

お祭り若連や運動部会も若者が少ないため、活動が難しくなっており、自治会の負担が大きくなってきている。

高齢者が多く、若者の負担が大きくなってきている。

10年位は維持できるが、体協や消防は、若い人たちがいないので無理が生じる。

一人で何役もやるようになる。

サイクルが決まっているが、高齢化により厳しい状態である。

年功序列で回している。65歳以上は役無しを検討中

40〜60歳代の人口が多いので、役回りについては当面問題ないと考えているが、役は75歳位までとしたい。

戸数が少ないので、一人で何役もやっている。将来が不安である。

50歳以下の人口が少なく、自治会を統合しないと役回りが難しい状況になってくる。

・共同作業

高齢化により、共同作業に参加できない世帯が増え、若者の負担が大きくなる。

現在は、共同作業は支障なく実施されているが、5年後、10年後は高齢者が増加し、力仕事は困難になり、作業方法を考えなければならぬ。

作業者の高齢化により、作業が難しくなると思われるので、体力のあるボランティアによる作業を増やしていきたい。

高齢者が多くなり、行政に頼るようになる。

・住民同士の相互扶助（目配り、防災、防犯等）

声掛けの継続・強化が必要。行政委員、自治会長、若連が指揮を執って、いろいろな研修をやっている。

現在は大丈夫、10年・20年後は厳しい。

各班ごとに回覧配布で、声掛け。

一人暮らしの高齢者世帯等が増えていくので更に声掛け等が必要になる。

民生委員が、一人暮らし高齢世帯等の巡回、サロン実施による安否確認、生きがいづくりなどにつとめている。

次号へつづく



生活支援コーディネーターの紹介



大内耕太郎です！

4月から社会福祉協議会の「生活支援コーディネーター」として、岩代・東和を担当しています。

地域のつながり・支え合いは「住み慣れた地域で暮らすために」大切なものです。

安達支所内にある社会福祉協議会に勤務しています。

趣味はソフトボール、ポジションは守りに固いレフト。ラーメンやカレーの食べ歩きも大好きです。

性格は「明るくて社交的」と自分では思っています。

岩代地域のみなさまのサロンやお茶飲み会、地域の活動に参加させていただきたいと思っています。

高齢者のみなさんの住みやすい暮らしを推進することを目標に、積極的に活動してまいります。

お会いした際にはどうぞよろしくお願いたします。